

令和6年度 磐田市立南部中学校グランドデザイン

国：予測困難な未来をたくましく生きる力の育成
 県：有徳の人の育成
 市：ふるさとを愛し未来をひらく心豊かな磐田市民の育成

校訓

自立 創造 奉仕

生徒の実態と課題

- ・委員会や学級の係の仕事に熱心に取り組む
- ・困っている友だちがいると優しく声を掛けたり、手助けしたりすることができる
- ・自分の思いや考えを、自信をもって表現することが苦手
- ・課題を見つけ、自ら進んで学んだり、あきらめずにやり遂げることが苦手

学校教育目標

自ら学び、共に生きる、たくましい生徒

重点目標 「令和6年度スローガン - 飛び出そう！ 風光る 緑の里へ - 」

「自ら学び深めることを通して、仲間と共に学校や地域社会のために行動できる生徒」

学校経営の基本方針

- 1 「生徒が主役」の学校を創ります。
- 2 「主体的な学び手を育てる授業」を創ります。
- 3 学校、地域、家庭が連携し、「地域と共に子どもを育てる学校」を創り「持続可能な社会の創り手」を育てます。
- 4 学校改革を推し進め、南部中に勤務する職員が幸せを感じられ、それが子供の笑顔や幸せにつながる学校をつくりまします。

学校教育目標及び重点目標達成に向けて、育みたい資質能力と具体的な取組

学習部

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的に学ぶ」生徒。

- ・単元のガイダンスの充実。
- ・生徒にとって魅力的な課題の設定
- ・自分の取組を振り返る機会の設定
- ・課題を自分事として探究し、自分の将来や生き方を考える機会につなげる総合的な学習の時間の充実
- ・生徒が計画、実行、振り返りを行う中で、自分の学習状況を理解し、改善していく定期テストへの取組
- ・タブレット等を使った自主学习等、自分に合った家庭学習の選択。

特活部

思いやりの心や感動の心を持ち、集団の中で一人一人の存在感が認められ、相互に高め合っていくとともに、地域に生きる人として、地域社会のために貢献しようとする「主体的に行動する」生徒。

- ・学級にとって必要感のある係活動の集団決定及び自治的活動の実施
- ・生徒会員としての意識をもち、自分事として取り組む生徒会活動
- ・目標、内容、ルール等の企画から、学級での練習計画、反省まで、リーダーが中心となり進める学校行事
- ・活動目標や練習内容等、生徒が考え、判断し取り組む部活動
- ・生徒会、部活動等でのESD、SDGsへの取組やボランティアへの参加

生活部

「自分が自分であって大丈夫」という自己肯定感をもち、何事にも失敗を恐れず、勇気をもって取り組むことで、自分の可能性を見つけ、広げようとする「主体的に挑戦する」生徒。

- ・校則やマナーを守った生活について、生徒が主体的に自己判断する場面を増やす。
- ・生徒主体で行う校則の見直し
- ・自他の安全や命を守るために、実践力向上を目的とする避難訓練の実施
- ・食や栄養への関心を高める、年2回の自分で作るお弁当の日の実施
- ・保健委員の活動や、健康の日の取組で健康の保持増進を図る

学校の基盤（体制・理念等）

- 生徒が失敗を恐れず、勇気をもって挑戦する意欲や粘り強い取り組みを引き出す「トライ&エラー」の推奨。
- 信頼される職員集団 ・生徒を信じて任せて認め「良さ・可能性」を引き出し、支える教師 ・3ゼロ+2の遵守
- 地域、保護者との有機的な連携（コミュニティスクールの機能を利用した、開かれた学校の推進）
- 安全で安心な教育環境の整備（いじめの未然防止、交通事故撲滅、感染症等に対する適切な予防、教育環境整備）
- SDGsを意識した教育活動による、未来を切り開く、持続可能な社会の担い手となるための資質能力の育成
- 生徒と教師の笑顔を増やすための学校改革の推進（業務、教育課程、部活動の見直し、超過勤務時間の削減等）

みなみが野学府 教育目標 「確かな学力・豊かな心・たくましい体をもった児童・生徒の育成」

～9年間を見通し、「つなぐ」をキーワードに、様々な「つながり」を強固にし、活用しながら目標の達成を目指す。～

1. 目標達成のための具体を検討する3つの部会
 - 学力向上部 学びをつなぐ取組の検討と実施、
 - 心育成部 心をつなぐ取組の検討と実施、
 - 生活向上部 生活習慣をつなぐ取組の検討と実施
2. 学府教育の基盤となる様々なつながりの活用

「子ども同士のつながり」「保護者とのつながり」「地域とのつながり」「教職員のつながり」